

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公表番号】特表2016-500013(P2016-500013A)

【公表日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-001

【出願番号】特願2015-536280(P2015-536280)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/142 (2006.01)

A 6 1 M 5/145 (2006.01)

A 6 1 M 25/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/142 5 2 2

A 6 1 M 5/145 5 0 0

A 6 1 M 25/06 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月11日(2016.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使い捨てハウジングを備える、流体の少量を患者に供給するための流体供給装置において、使い捨てハウジングが、1つの下側部分および1つの上側部分を備え、下側部分と上側部分とは別の部材であり、装着されたとき、協働して、内部の部分的にトロイダルなアーチ形キャビティを規定するシェルを形成することを特徴とする流体供給装置。

【請求項2】

アーチ形キャビティが流体を収容するためのアーチ形シリンダーを受ける、あるいは、流体を収容するためのアーチ形シリンダーを形成し、アーチ形ピストンがアーチ形シリンダー内で移動可能である、請求項1に記載の流体供給装置。

【請求項3】

ピストンが、その底部に、ハウジングの上側部分および/または下側部分上の少なくとも1つのサポートと協働するサポートを有し、ピストンがその底部に任意の方法で強化システムを有する、請求項2に記載の流体供給装置。

【請求項4】

使い捨てハウジングのシェルを形成する前記下側または上側部材の少なくとも一方が、アーチ形キャビティに対向するその円周の半分上に、アーチ形の壁を有する、請求項1に記載の流体供給装置。

【請求項5】

ピストンを駆動するための手段を備える取り外し可能な駆動装置が、使い捨てハウジングに装着可能であり、駆動装置がリモートコントロールによって任意の方法で駆動される、請求項2に記載の流体供給装置。

【請求項6】

前記アーチ形の壁が、使い捨てハウジングに対し駆動装置を受け、固定し、シールするためのサポートを構成する、請求項4または5に記載の流体供給装置。

【請求項7】

使い捨てハウジングが、その内部に駆動装置を受けるための、ピストンシステムの内側および使い捨てハウジングの直径ラインによって規定される外縁を備える溝を有する、請求項5に記載の流体供給装置。

【請求項8】

使い捨てハウジングが、丸められたあるいは傾いた上端部および平坦な底部を備えるほぼ平坦な円筒ディスク形状の全体が覆われたハウジングであり、駆動装置が平坦な円筒ディスクの上面の約半分を占め、接着サポートが、平坦な底部に対して適用され、周辺リムとして平坦な底部から突出する、請求項5、6または7に記載の流体供給装置。

【請求項9】

直線状のカニューレが、使い捨てハウジングの一方の部分／シェルの下に位置する接着サポートに対し通常垂直であり、前記トロイダルキャビティの下流端に向かって位置し、カニューレが、流体を患者に供給するための第1の位置とキャビティまたはシリンダー内を外部容器からの流体で充填させるため外部とキャビティとを連通させる第2の位置との間で、使い捨てハウジング中に移動可能に搭載される、請求項1～8のいずれか1項に記載の流体供給装置。

【請求項10】

カニューレが使い捨てハウジングの2つの部材／シェルを介して通過し、カニューレがその中に開口を有する隔壁と任意の方法で協働する、請求項1～9のいずれか1項に記載の流体供給装置。

【請求項11】

アーチ形のキャビティまたはアーチ形のキャビティ内に位置するシリンダーが患者に供給するためのインスリンを収容する、請求項1～10のいずれか1項に記載の流体供給装置。

【請求項12】

流体の少量を患者に供給するためのシステムであって、

- 請求項1～11のいずれか1項に記載の流体供給装置、および、
- 流体供給装置上に取り外し可能に装着できる2機能コネクターであって、流体容器のためのサポートと、注射針グリップ中に保持された移動可能な注射針と、2機能コネクターが装着されると、流体容器からシリンダーに流体を供給する位置と、カニューレの挿入のために患者の皮膚に注射針で穴を開ける位置と、シリンダーにより流体をカニューレを介して供給するための位置と、の間を移動可能な注射針と、を備える2機能コネクター、を備え、システムが、任意の方法で、流体供給装置との無線通信に適合されたリモートコントロールであって、流体供給装置の異なる機能に対する複数のコントロールを備えるリモートコントロールを更に備えることを特徴とするシステム。

【請求項13】

請求項1～11のいずれか1項に記載の流体供給装置上に取り外し可能に装着できる2機能コネクターであって、流体容器のためのサポートと、注射針グリップ中に保持された移動可能な注射針と、2機能コネクターが装着されると、流体容器からシリンダーに流体を供給する位置と、カニューレの挿入のために患者の皮膚に注射針で穴を開ける位置と、シリンダーにより流体をカニューレを介して供給するための位置と、の間を移動可能な注射針と、を備えることを特徴とする2機能コネクター。

【請求項14】

流体容器のためのサポートが、その上端が支持した流体容器の内部と連通し、その下端が大気に開放される、第2の固定注射針を支持する、請求項13に記載の2機能コネクター。